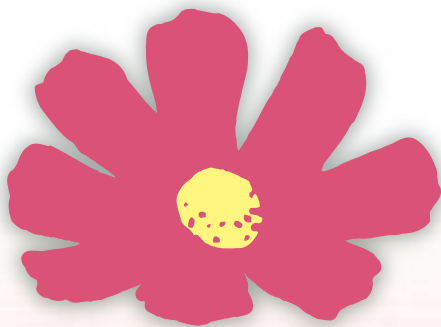




2011 REPORT

千葉興業銀行レポート

ミニ・ディスクロージャー誌

第90期 営業の中間ご報告

平成23年4月1日～平成23年9月30日

目次

ごあいさつ・企業理念	2
経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	9
CSRの取組み	11
トピックス	17
財務諸表	19
役員・株式の状況	21

当行の概要 (平成23年9月30日現在)

設 立：昭和27年1月
本 店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金：579億4,189万3,949円
従業員数：1,327名



[ちば興銀は、
次世代認定マークを取得しています。]

ごあいさつ



平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。
平成23年度中間期の当行の経営内容や業績、CSRの取り組み等につきまして、
ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、平成23年度上期における国内経済は、東日本大震災の影響も残る中、
サプライチェーンの立て直しによる生産の持ち直しや、消費者マインドの改善
から個人消費にも持ち直しの動きが見られるようになりました。一方、海外景気
の下振れ懸念や歴史的な円高、株安の進行、デフレの影響等の景気の下振れ
リスクが存在し、依然として先行きは不透明な状況です。

このような環境のなか、当行は、平成23年4月より平成23-24年度中期経営
ビジョン『ちば興銀“変革・成長”戦略』に基づく戦略施策を積極的に展開して
おります。お客さまのニーズや経営課題解決にともに取り組み「地域の お客さまの
ベスト・コンサルタント」さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない
絶対的存在感のある銀行」をめざして、当行グループの総力を結集して業務に
邁進し、お客さまへのサービス向上に努めてまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年11月

取締役頭取・CEO 青柳俊一

企業理念

地 域 と と も に

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、
豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、
より質の高いサービスの提供に努めます。

「親 切」の 心 で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、
親切ナンバーワンをめざします。



経営方針

経営方針

平成23年度、平成24年度の2か年におきましては、中期経営ビジョン『ちば興銀“変革・成長”戦略』に基づき、「トップライン収益の極大化」と「持続的成長基盤の構築」を経営課題として、「顧客ロイヤルティ向上戦略」に取り組んでおります。「地域の お客さまの ベスト・コンサルタント」さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない 絶対的存在感のある銀行」を全行員・スタッフがー丸となってめざしてまいります。

企業理念 地域とともに お客さまのために「親切」の心で

当行のあるべき姿(10年後)

選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない 絶対的存在感のある銀行

“ちば興銀ブランド”の確立

当行のめざすべき姿(5年後)

地域の お客さまの ベスト・コンサルタント “ちば興銀”

“ちば興銀ブランド”の発現

平成23-24年度中期経営ビジョン

『ちば興銀“変革・成長”戦略』 トップライン収益極大化と持続的成長基盤の構築

“ちば興銀ブランド”の創造
相談対応力・課題解決力を持ち、
真摯・親身にお応えする銀行

顧客ロイヤルティ向上戦略

顧客基盤・収益基盤の強化

1 新たな顧客・収益の創出に向けた取組み

- ロイヤルカスタマーの拡大・増強
中小企業(オーナー)、地権者、金融資産富裕層に対する取引推進強化
- 顧客ニーズ基点の営業態勢強化
- 強固かつ中長期的な顧客リレーションシップの構築
- 「個人」への営業展開の強化

2 顧客接点の継続性・持続性を高めるための取組み

- 顧客満足度(CS)の向上 ■ 顧客対応力の向上
- 顧客サービス力の向上

3 当行「強み」のさらなる強化のための取組み

- 地域密着型金融の恒久的な取組み
経営改善・事業再生に向けたコンサルティング機能の発揮
- 成長基盤分野・事業への支援強化
「医療・介護・福祉」「農業(アグリ)」を重点とする支援強化

人材・組織基盤の強化

1 コンサルティング能力の向上

- コンサルティング人材の育成・強化
- コンサルティング機能提供態勢の強化

2 人材育成と組織力の強化

- 自律型人材育成等の強化 ■ 組織活力・体制の強化
- 業務改善・効率化への取組み強化
- 創立60周年記念事業の展開
- みずほグループ・アライアンスの活用強化

3 経営体質の強化

- リスクマネジメントの強化
- 強固なコンプライアンス態勢の構築
- コスト管理高度化体制の強化
- 財務体質の強化、外部評価改善への取組み強化
- 株主・投資家リレーションシップの強化



営業の概況

グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

預金・貸出金の状況～預金・貸出金は堅調に推移～

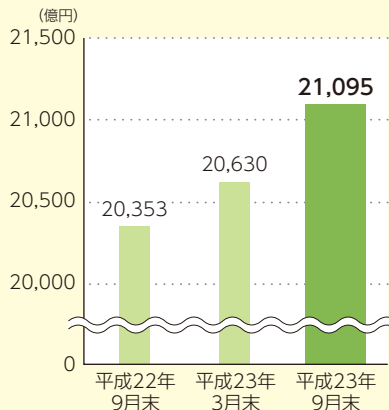
総預金の当中間期末残高は、前年同期比741億円増加し2兆1,095億円となりました。特に個人預金については、「<がんばろう千葉>定期預金チーバくん定期」等がご好評いただき、前年同期比529億円増加し1兆6,548億円となりました。

投資信託販売は堅調に推移いたしました。単位型投資信託の償還や株式相場の変動の影響もあり、投資信託の預り資産残高は、前年同期比264億円減少し、1,106億円となりました。

当中間期末の貸出金残高は、お取引先とのリレーション強化、新規貸出先増強に努めた結果、前年同期比546億円増加し1兆5,990億円となりました。住宅ローンについては、住宅販売会社等との連携強化、相談会開催等によりお客さまの借換えニーズに積極的に取組んだ結果、前年同期比153億円増加し5,039億円となりました。

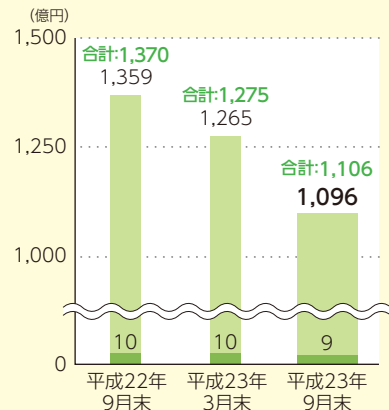
総預金残高

※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

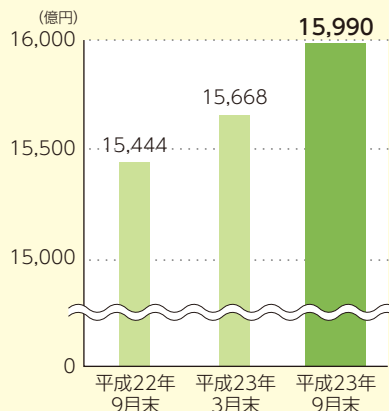


投資信託残高

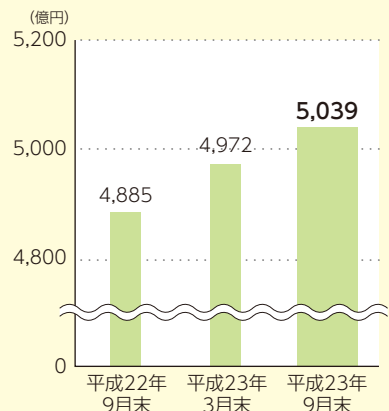
■ 株式投信 ■ MMF



総貸出金残高



住宅ローン残高



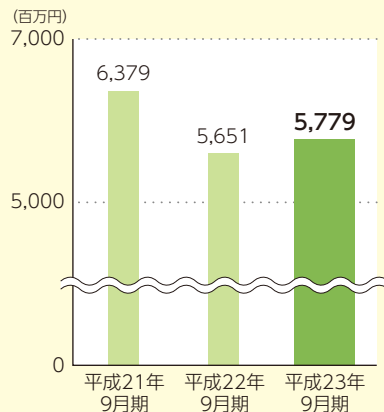
損益の状況

預金、貸出金残高が堅調に増加したこと等により資金利益が増加したことや、投資信託や保険窓販商品の販売手数料等の役務取引等利益の増加等を要因に、コア業務純益^(※)は前年同期比3億85百万円増加し、57億83百万円となりました。また、厳しい経済状況のなか、お取引先企業への経営改善支援の取り組みや与信管理の徹底による貸倒償却等の不良債権処理額の減少等により、経常利益は前年同期比13億43百万円増加し45億79百万円となりました。特別損益は貸倒引当金戻入益等が計上された前年同期と比較し17億59百万円減少となりました。これらにより、中間純利益は前年同期比4億17百万円減少し40億39百万円となりました。

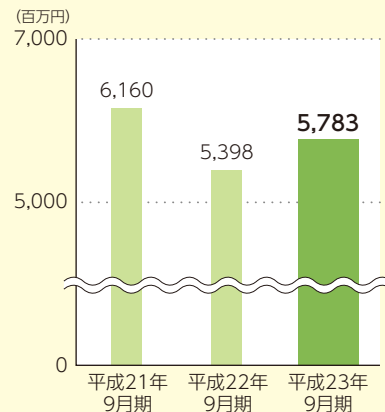
※コア業務純益

業務純益から一般貸倒引当金繰入額、国債等債券関係損益を除いて算出しております。

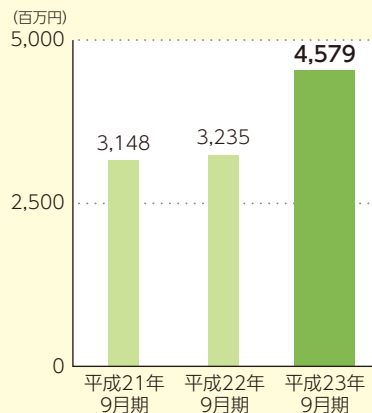
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）



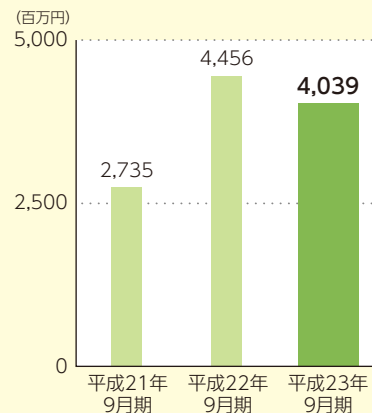
コア業務純益



経常利益



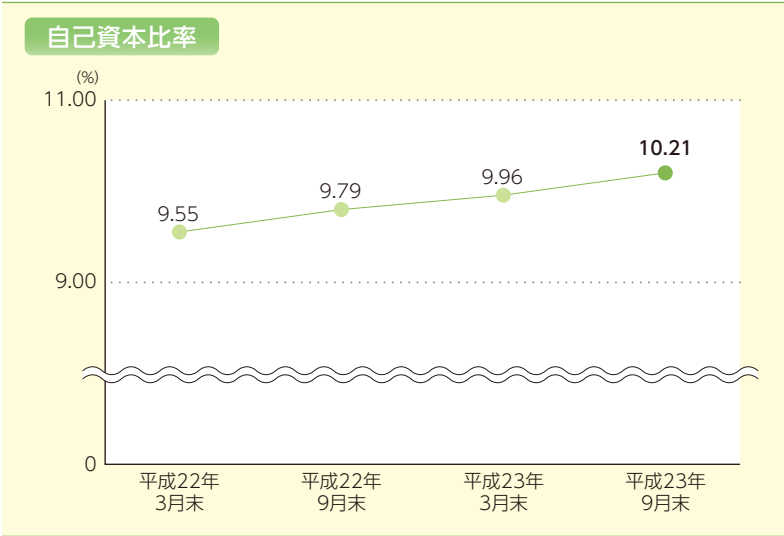
中間純利益



自己資本比率等

平成23年9月末の自己資本比率は、中間純利益40億円の計上等により基本的項目が平成23年3月末比41億円増加したことなどにより、平成23年3月末比0.25ポイント上昇し、10.21%となりました。

また、経営の効率性を示す経営指標であるコアOHR(※1)は、コア業務粗利益(除く国債等債券関係損益)の増加やコスト管理高度化の取組み等による経費の削減により68.02%と前年同期比1.68ポイントの改善となりました。また、収益性の高さを示すROA(※2)は、コア業務純益の増加により0.51%と前年同期比0.01ポイント上昇いたしました。



※1 コアOHR
(経費対コア業務粗利益率=経費÷コア業務粗利益(除く国債等債券関係損益)×100)
一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表す指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

※2 ROA《コア業務純益ベース》
(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)
投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表す指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。

自己資本比率算定明細表

(単位:%・百万円)

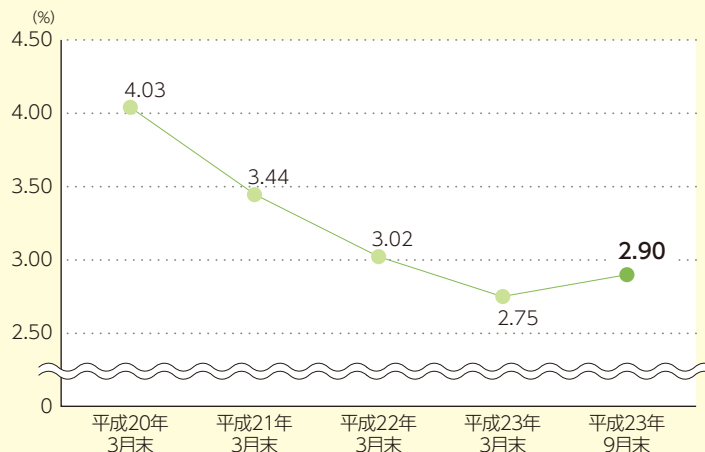
	平成23年3月末	平成23年9月末
1.自己資本比率	9.96	10.21
2.基本的項目	120,745	124,913
3.補完的項目	10,243	9,966
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	-	-
(ロ)うち劣後ローン残高	5,500	5,500
4.控除項目	196	195
5.自己資本 2+3-4	130,792	134,684
6.リスクアセット	1,312,192	1,318,317
うちオン・バランス	1,216,828	1,225,245
うちオフ・バランス	25,611	24,104
うちオペレーショナルリスク	69,752	68,967

経営改善支援の取組み等

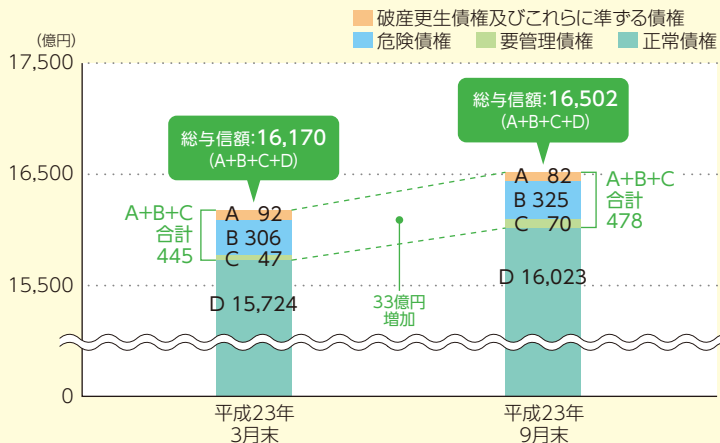
「中小企業金融円滑化法」の趣旨を踏まえ、全営業店への「ご返済相談窓口」の設置、ローンプラザ等で休日相談に対応するなど、従来以上にお取引先の資金繰り下支え、経営改善に向けた相談等に積極的に取組んでまいりました。また、「地域経済・地域社会発展への貢献」を経営課題のひとつに掲げ、地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的に支援することを通じて、健全企業に再生できるよう中小企業金融円滑化の取組みにも真摯に対応してまいりました。しかしながら、景気低迷が続くなか、東日本大震災や歴史的な円高の県内産業への影響もあり、正常債権を除いた金融再生法における「開示債権額」は、平成23年3月末比33億円増加し478億円となりました。総与信に占める割合（開示債権比率）は、平成23年3月末比0.14ポイント上昇し2.90%となりました。

今後もお取引先の経営課題を把握・分析し、適時に最適なソリューションを提案する等、金融コンサルティング機能を発揮し、経営改善支援・事業再生等に向けた取組みを積極的に実施してまいります。

金融再生法に基づく開示債権比率



金融再生法に基づく開示債権額比較



格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期優先債務^(※)格付けを取得し公表しております。平成23年10月に見直しを行い以下のとおりとなっております。

格 付 け 「BBB(トリプルBフラット)」^[据え置き]

格付け見通し 「ポジティブ」^[「安定的」より変更]

(格付けの公表:平成23年10月4日)

※長期優先債務:格付対象会社の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益分配に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

優先株式の配当 当中間期の優先株式の配当につきましては、5月12日に公表のとおり、本年度末に一括配当とさせていただく予定であります。

普通株式の配当 当中間期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。

株主優待制度の拡充

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。平成23年3月31日現在で千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を昨年に引続きお取扱いしております(平成23年7月1日～平成24年3月30日)。従来の株主優待制度である「さわやかハロー24」^(※)ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

※「さわやかハロー24」

当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。



地域コーナー

地域のお客さまとのお取引の状況

当行では預金の大半を地域のお客さまからお預かりしております。

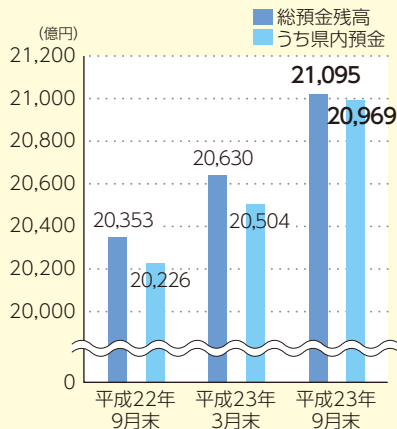
そしてこの大切な預金を県内の企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。

また、平成23年9月末の県内保証協会保証付貸出金は、11,334件の1,554億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

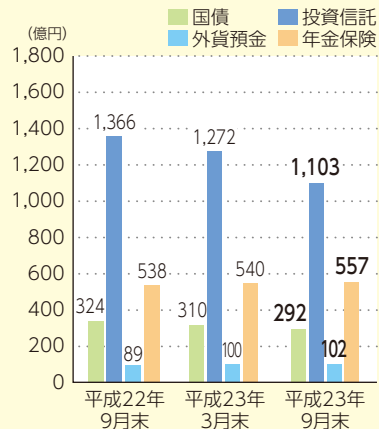
預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。

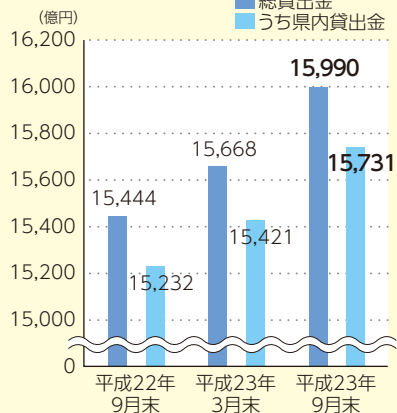


預り資産残高

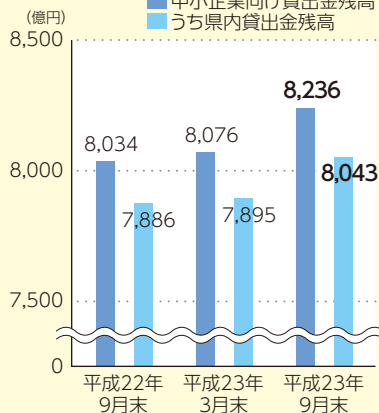
平成23年9月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



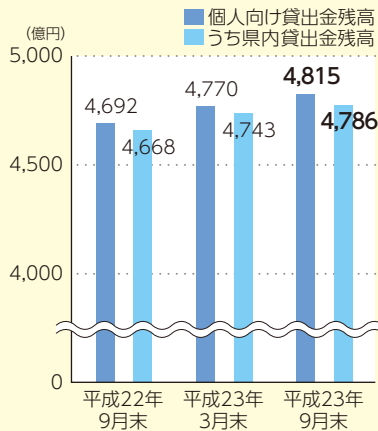
貸出金残高等



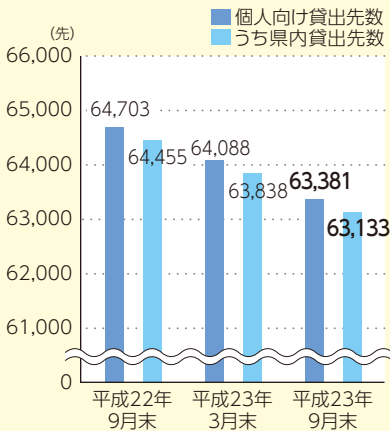
中小企業向け貸出金残高等



個人向け貸出金残高等

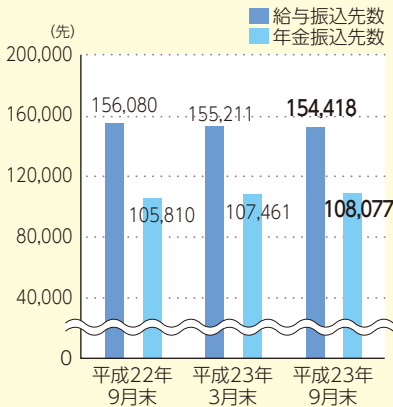


個人向け貸出先数等



給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、多くのお客さまのご利用をいただいております。



業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位:億円)

平成23年9月末	貸出金残高	うち県内向け
製造業	1,684	1,632
農業、林業	39	39
漁業	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	27	27
建設業	851	849
電気・ガス・熱供給・水道業	65	65
情報通信業	51	49
運輸業、郵便業	640	633
卸売業、小売業	1,893	1,858
金融業、保険業	571	570
不動産業、物品賃貸業	3,395	3,275
各種サービス業	1,653	1,642
地方公共団体	295	295
その他	4,819	4,790
合計	15,990	15,731



CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

このたびの東日本大震災により被害を受けられた被災者の皆さまに対しまして、心よりお見舞い申し上げます。ちば興銀では、東日本大震災により千葉県の経済活動が様々な影響を受けるなか、被害を受けられた皆さまの災害復旧等にお役立ていただくために、下記取組みをしております。

- 「災害復旧支援ローン」の取扱(取扱期間:平成23年3月18日～平成24年3月30日)
災害復旧にかかる住宅関連資金(土地・住宅の購入、新築・改修資金等)
- 災害復旧支援資金「頑張ろう!千葉」の取扱(取扱期間:平成23年3月18日～平成24年3月30日)
災害復旧に伴う事業資金(運転・設備)
*詳細については、お近くのちば興銀窓口までお問い合わせください。

その他、全店舗に「東日本大震災関連ご融資相談窓口」を設置し、ご相談を承る体制を整備しております。「特別相談会」も実施いたしました。

また、県内被災地の復興等に役立てていただくため、当行及び関連会社役職員から義援金を募り千葉県災害対策本部等へ寄付いたしました。

ちば興銀では千葉県経済の活性化を応援する様々な取組みを行っております。千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーン及び「がんばろう千葉応援隊」の趣旨に賛同し、法人として応援隊に加入しております。

「がんばろう千葉応援隊」活動事例

- <がんばろう千葉>定期預金チーバくん定期の販売
&寄付金を贈呈
(販売期間:平成23年6月1日～7月29日)

お客さまにお預入れいただいた定期預金の残高に応じて、当行が千葉県災害義援金へ寄付(*)を行う定期預金を発売いたしました。お客さまにご好評をいただき、平成23年8月10日に、約360万円を千葉県災害義援金に寄付いたしました。

(※)寄付に関してお客さまのご負担はございません。

- 「がんばろう千葉」千葉県産応援キャンペーンの後援
(実施日:平成23年5月3日～5日)

館山道市原サービスエリア(上り線)で開催した、千葉県産の生鮮食品、農水産加工品他のPR及び販売に関するイベント(「がんばろう千葉」@館山道 市原SA)を後援いたしました。



■「がんばろう千葉 宿泊施設利用特別補助金制度」を実施

(実施日:平成23年6月10日～10月31日)

当行役職員への県内観光施設利用促進策として実施いたしました。当行役職員が、旅行を目的に県内宿泊施設へ宿泊した場合の費用について一定額を補助するものです。

■「がんばろう! 千葉 がんばろう! 東北 ちば興銀スペシャルナイター」を開催

(実施日:平成23年7月30日)

QVCマリンフィールドにて千葉県や千葉県観光協会と協賛して、県内観光応援イベントを開催いたしました。(下記ご参照)

ちば興銀は千葉ロッテマリーンズを応援しています！

「ちば興銀スペシャルナイター」開催！(平成23年7月30日)

ちば興銀では、毎年マッチデーを開催しており、公式ファンクラブであるTEAM26との共同企画による様々な催しを行っております。

今回は、当行が法人として参加している「がんばろう千葉応援隊」活動の一環として、千葉県や千葉県観光物産協会等と協力した様々な観光活性化支援策を実施いたしました。抽選会では、景品として県内観光施設の招待チケットや、当行オリジナルのマリーンズ・ちば興銀の特製タオルなどをご用意し、大変ご好評をいただきました。千葉県のキャラクター・チーバくんと千葉ロッテマリーンズのキャラクター・マーくんが競演する様々なイベントも開催いたしました。

また、当行ブースの隣には、「がんばろう千葉応援隊」の個人会員の申込みを受付ける臨時窓口も設置されました。

ちば興銀は地元金融機関として、今後も千葉ロッテマリーンズを応援するとともに、千葉県の活性化に寄与するための活動を行ってまいります。



■「がんばろう千葉」キャンペーンについては下記千葉県HPをご参照ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>

今後も千葉を元気にするための様々な活動を行ってまいります。
被害を受けられた皆さまの一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

当行では地域金融機関として、次世代育成支援に取り組んでいます。次世代育成支援対策の浸透を図ることで、地域社会の活性化、ひいては千葉県経済全体の発展につなげていきたい、との思いから各種取り組みを行っております。

次世代育成への取り組み

夏休み体験隊 「サマーキッズスクール2011」の開催！

県内在住の小学校5・6年生を対象として開催しており、今回で5回目となります。今年は東日本大震災からの復興を支援する取り組みとして、被災地のひとつである香取市の小学生を中心に招待いたしました。

当日は、QVCマリンフィード内の見学や、銀行やお金の仕組み等について学び、さらに、当日のマリーンズ戦のマッチカードプログラムを販売する「働く」体験をすることで、大切なお金に関する理解を深めていただきました。

また、働いた対価として得たお給料(当日スクール内で使えるチケット)の一部を義援金として寄付いただきました。
(平成23年8月10日千葉県に寄付金贈呈)



講師／
千葉商科大学
大学院教授
伊藤 宏一 先生



平成23年7月30日実施

中小企業育成への取り組み

「千葉元気印企業大賞」

平成7年度より、フジサンケイビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、千葉県の活気あふれる中小企業・ベンチャー企業の表彰を通じて地域企業の発展を支援しております。



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的を開催しております。これまでに100名を超える塾生が学び、平成22年10月からは第四期生のプログラムがスタートしております。

最近の 活動状況

- 23/6 リスクマネジメント講座 第2講
- 23/7 地域活性化セミナー
(千葉ロッテマリーンズ共同企画)
- 23/9 リスクマネジメント講座 第3講
- 23/10 インドセミナー



中小企業へ向けた取組み

「次世代経営研究講座」

地元中小企業の更なる発展を支援するため、経営の質を高めて業績向上・企業発展をめざす「経営品質向上プログラム」をご紹介します。本講座では6か月12回にわたり、新しい経営のあり方を考えていただきます。

講師／
ヒューマンウェア・コンサルティング株式会社
渡辺 昇 先生 (日本経営品質学会副会長)



文化・スポーツ活動

「美しい房総」写真展の開催

美しい郷土・風景をお楽しみいただこうと、季節にあわせ、県内写真家の傑作を当行の営業店ロビー等で随時展示しております。



コスモスコンサートの開催

地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて年2回(6月「祝・千葉県民の日」、10月「祝・千葉市民の日」)、ミニコンサートを18年連続で開催しております。



各種スポーツ大会への協賛

平成23年9月に、当行主催による「第22回千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、県内ゲートボール愛好家60チーム・約330名の参加により開催いたしました。

また、「千葉県障害者スポーツ大会」への協賛及び選手参加(5月)や、その他県スポーツ振興財団への協賛も行っております。



社会奉仕活動

「小さな親切」運動の推進

当行は、35都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部及び事務局として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈る「実行章」は、千葉県内で平成23年度上期(4月～9月)において266名が受章されました(累計約307千人で全国第2位)。当行行員は全員会員登録しており、清掃等のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



地域交流活動への積極的参加

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフ及びその家族がボランティア参加しております。

また、国道14号・357号沿線の16企業・団体で組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道を清掃しております。(平成22年度延べ221名参加)



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へスポークライト(自転車事故防止用反射板)9,000個を贈呈しております(17年間で延べ213,200個)。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間におけるポスターの全店掲示及び、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用しております。



寄付活動

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会事務局の柏戸病院へ寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等を、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しております。これらは、障がい者への車椅子購入やボランティア活動資金に利用されております。

当行役職員による募金活動「ともじびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄贈しております。



「お客さまにやさしい」店づくり

目のご不自由なお客さまでも操作が可能な「視覚障がい者対応ATM」を全営業店に設置しております。ATM付属のハンドセット(受話器)から流れる操作誘導の音声ガイダンスに従い、ハンドセットについたテンキーボタンにて操作いただけます。お預入れ・お引出し・残高照会・通帳記入のお取引でご利用いただけるものです。

ちば興銀ではこれからもお客さまにご利用しやすく、やさしい店づくりをすすめてまいります。



全ATMの省電力化対応を実施！

節電及び環境への取組み(CO₂削減)の一環として、店舗内・店舗外全てのATMを省電力モードにて運用しております。標準取引を前提とした算出にて、約25%の消費電力削減が可能となります。

お客さまには、ATMが起動するまで約10秒お待ちいただく場合がございますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。



ちば興銀ポイントサービス「コスモスクラブ」リニューアル！

当行に一定のお取引をいただき会員登録されたお客さまに優遇サービスをご提供する「コスモスクラブ」を、平成11年7月からお取り扱いしており、これまでもサービス追加等を行ってまいりましたが、このたび全面的に内容の見直しを行い、より多くのお客さまにご利用いただけるサービスとして生まれ変わりました。

新しい「コスモスクラブ」では、個人のお客さまはどなたでもご入会いただけるようになりました。加えて、当行とのお取引内容に応じて獲得したポイントによって、各種手数料の割引・定期預金の金利優遇等の特典をご利用いただけます。

※詳細については、お近くのちば興銀窓口またはちば興銀テレホンセンターにお問い合わせいただくか、ちば興銀ポイントサービス「コスモスクラブ」のパンフレットをご覧ください。



～つないでいこうこれからも～

平成24年3月、おかげさまで創立60周年を迎えます。

ちば興銀は、おかげさまで平成24年3月3日に創立60周年を迎えます。長年にわたり当行をお引き立ていただいている皆さまに感謝の気持ちをこめ、平成23年10月3日から平成24年9月29日までを周年運動期間として、期間限定定期預金の発売や各種キャンペーン等を行ってまいります。



60周年記念定期預金 『ハッピーコレクト』発売！（平成23年10月）

記念商品の第1弾として、平成23年10月3日より平成24年2月29日まで、期間限定で「＜60周年記念定期預金＞ハッピーコレクト」を発売しております。本定期預金は、「60周年」にちなみ、特別金利・年0.06%（税引後0.048%）（※）を適用いたします。さらに、月ごとに違うデザインの当行オリジナル「マリーンズプレート」を毎月先着6,000名様にプレゼントいたします。

※特別金利の適用は初回預け入れのみ適用となります。

*詳細については、「商品概要説明書」（当行ホームページにも掲載）をご覧ください。



60周年記念 『オーストラリア・ドル建て外貨預金為替手数料優遇キャンペーン』実施！ （平成23年10月）

平成23年10月3日より平成23年12月30日まで、期間限定で「＜60周年記念＞オーストラリア・ドル建て外貨預金為替手数料優遇キャンペーン」を実施しております。本キャンペーンは、「60周年」にちなみ、通常為替手数料の60%にて「円貨からオーストラリア・ドル建ての外貨預金へのお預入れ」、「オーストラリア・ドル建ての外貨預金から円貨へのお引出し」をいたします。

*詳細については、「商品概要説明書」（当行ホームページにも掲載）及びキャンペーンチラシをご覧ください。



財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第90期中(平成23年9月30日現在) 中間貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	37,182	預 金	2,102,567
コールローン	42,000	譲 渡 性 預 金	6,950
買入金銭債権	11,260	借 用 金	7,500
商品有価証券	136	外 国 為 替	16
有 価 証 券	523,910	そ の 他 負 債	17,782
貸 出 金	1,599,087	未 払 法 人 税 等	118
外 国 為 替	3,251	リ ー ス 債 務	1,196
そ の 他 資 産	11,533	そ の 他 の 負 債	16,467
有形固定資産	19,060	退職給付引当金	5,234
無形固定資産	2,087	役員退職慰労引当金	73
繰延税金資産	24,570	睡眠預金払戻損失引当金	323
支払承諾見返	20,704	支 払 承 諾	20,704
貸倒引当金	△9,683	負 債 の 部 合 計	2,161,151
資 産 の 部 合 計	2,285,101	(純資産の部)	
		資 本 金	57,941
		資 本 剰 余 金	32,792
		資 本 準 備 金	32,792
		利 益 剰 余 金	35,280
		利 益 準 備 金	3,007
		その他利益剰余金	32,273
		繰越利益剰余金	32,273
		自 己 株 式	△63
		株 主 資 本 合 計	125,951
		その他有価証券評価差額金	△2,002
		評価・換算差額等合計	△2,002
		純 資 産 の 部 合 計	123,949
		負債及び純資産の部合計	2,285,101

第90期中(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) 中間損益計算書

(単位:百万円)	
科 目	金 額
経 常 収 益	21,692
資金運用収益	16,826
(うち貸出金利息)	(13,634)
(うち有価証券利息配当金)	(3,014)
役務取引等収益	3,467
その他業務収益	692
その他経常収益	705
経 常 費 用	17,112
資金調達費用	850
(うち預金利息)	(784)
役務取引等費用	1,811
その他業務費用	243
営 業 経 費	12,774
その他経常費用	1,432
経 常 利 益	4,579
特 別 利 益	2
特 別 損 失	13
税引前中間純利益	4,569
法人税、住民税及び事業税	28
法人税等調整額	501
法 人 税 等 合 計	529
中 間 純 利 益	4,039

第90期中(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) 中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)	
科 目	金 額
株 主 資 本	
資 本 金	
当 期 首 残 高	57,941
当 中 間 期 変 動 額	—
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—
当 中 間 期 末 残 高	57,941
資 本 剰 余 金	
資 本 準 備 金	
当 期 首 残 高	32,792
当 中 間 期 変 動 額	—
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—
当 中 間 期 末 残 高	32,792
資 本 剰 余 金 合 計	
当 期 首 残 高	32,792
当 中 間 期 変 動 額	—
当 中 間 期 変 動 額 合 計	—
当 中 間 期 末 残 高	32,792
利 益 剰 余 金	
利 益 準 備 金	
当 期 首 残 高	2,723
当 中 間 期 変 動 額	—
剰 余 金 の 配 当	283
当 中 間 期 変 動 額 合 計	283
当 中 間 期 末 残 高	3,007
そ の 他 利 益 剰 余 金	
繰越利益剰余金	
当 期 首 残 高	29,937
当 中 間 期 変 動 額	—
剰 余 金 の 配 当	△1,703
中 間 純 利 益	4,039
当 中 間 期 変 動 額 合 計	2,336
当 中 間 期 末 残 高	32,273
利 益 剰 余 金 合 計	
当 期 首 残 高	32,660
当 中 間 期 変 動 額	—
剰 余 金 の 配 当	△1,419
中 間 純 利 益	4,039
当 中 間 期 変 動 額 合 計	2,620
当 中 間 期 末 残 高	35,280

(単位:百万円)	
科 目	金 額
自 己 株 式	
当 期 首 残 高	△63
当 中 間 期 変 動 額	—
自 己 株 式 の 取 得	△0
当 中 間 期 変 動 額 合 計	△0
当 中 間 期 末 残 高	△63
株 主 資 本 合 計	
当 期 首 残 高	123,331
当 中 間 期 変 動 額	—
剰 余 金 の 配 当	△1,419
中 間 純 利 益	4,039
自 己 株 式 の 取 得	△0
当 中 間 期 変 動 額 合 計	2,619
当 中 間 期 末 残 高	125,951
評 価 ・ 換 算 差 額 等	
その他有価証券評価差額金	
当 期 首 残 高	378
当 中 間 期 変 動 額	—
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の	
当 中 間 期 変 動 額	△2,380
当 中 間 期 変 動 額 合 計	△2,380
当 中 間 期 末 残 高	△2,002
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
当 期 首 残 高	378
当 中 間 期 変 動 額	—
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の	
当 中 間 期 変 動 額 (純額)	△2,380
当 中 間 期 変 動 額 合 計	△2,380
当 中 間 期 末 残 高	△2,002
純 資 産 合 計	
当 期 首 残 高	123,710
当 中 間 期 変 動 額	—
剰 余 金 の 配 当	△1,419
中 間 純 利 益	4,039
自 己 株 式 の 取 得	△0
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の	
当 中 間 期 変 動 額 (純額)	△2,380
当 中 間 期 変 動 額 合 計	239
当 中 間 期 末 残 高	123,949

第90期中(平成23年9月30日現在)
中間連結貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	37,534	預 金	2,094,820
コールローン及び買入手形	42,000	譲渡性預金	6,950
買入金銭債権	11,260	借 用 金	15,036
商品有価証券	136	外国為替	16
有価証券	523,545	その他負債	23,485
貸 出 金	1,592,759	退職給付引当金	5,389
外国為替	3,251	役員退職慰労引当金	122
その他資産	31,520	睡眠預金払戻損失引当金	323
有形固定資産	19,130	支払承諾	29,111
無形固定資産	2,423	負債の部合計	2,175,254
繰延税金資産	25,087	(純資産の部)	
支払承諾見返	29,111	資 本 金	57,941
貸倒引当金	△14,455	資本剰余金	32,792
資産の部合計	2,303,304	利益剰余金	37,798
		自己株式	△64
		株主資本合計	128,469
		その他有価証券評価差額金	△1,991
		その他の包括利益累計額合計	△1,991
		少数株主持分	1,572
		純資産の部合計	128,050
		負債及び純資産の部合計	2,303,304

第90期中(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
中間連結損益計算書

(単位:百万円)	
科 目	金 額
経 常 収 益	25,934
資金運用収益	16,748
(うち貸出金利息)	(13,654)
(うち有価証券利息配当金)	(2,916)
役務取引等収益	3,854
その他業務収益	692
その他経常収益	4,639
経 常 費 用	20,949
資金調達費用	909
(うち預金利息)	(782)
役務取引等費用	1,301
その他業務費用	243
営業経費	12,894
その他経常費用	5,600
経 常 利 益	4,985
特 別 利 益	2
特 別 損 失	13
税金等調整前中間純利益	4,975
法人税、住民税及び事業税	304
法人税等調整額	405
法人税等合計	709
少数株主損益調整前中間純利益	4,265
少数株主利益	136
中 間 純 利 益	4,129

第90期中(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)	
科 目	金 額
株 主 資 本	資 本
資 本 金	
当期首残高	57,941
当中間期変動額	—
当中間期末残高	57,941
資 本 剰 余 金	
当期首残高	32,792
当中間期変動額	—
当中間期末残高	32,792
利 益 剰 余 金	
当期首残高	35,088
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,419
中間純利益	4,129
当中間期変動額合計	2,710
当中間期末残高	37,798
自 己 株 式	
当期首残高	△63
当中間期変動額	—
自己株式の取得	△0
当中間期変動額合計	△0
当中間期末残高	△64
株 主 資 本 合 計	
当期首残高	125,759
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,419
中間純利益	4,129
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,213
当中間期変動額合計	496
当中間期末残高	128,050

科 目	金 額
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	386
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,378
当中間期変動額合計	△2,378
当中間期末残高	△1,991
その他の包括利益累計額合計	386
当期首残高	386
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,378
当中間期変動額合計	△2,378
当中間期末残高	△1,991
少 数 株 主 持 分	
当期首残高	1,408
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	164
当中間期変動額合計	164
当中間期末残高	1,572
純 資 産 合 計	
当期首残高	127,554
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,419
中間純利益	4,129
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,213
当中間期変動額合計	496
当中間期末残高	128,050



役員・株式の状況

役員（平成23年11月30日現在）

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	梅村	星児
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	安良	博男
常勤監査役	安田	達央
常勤監査役	奥田	行雄
監査役	佐藤	英夫
監査役	原口	秀夫

(注) 監査役佐藤英夫氏および原口秀夫氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況（平成23年9月30日現在）

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	138,750千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第三回第三種優先株式	35,000千株	17,150千株

2 株主数

普通株式	11,966名
第一回第一種優先株式	2名
第二回第二種優先株式	2名
第三回第三種優先株式	1名

3 大株主

株式の種類	氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほコーポレート銀行	4,791	9.45
	株式会社みずほ銀行	4,791	9.45
	明治安田生命保険相互会社	2,158	4.25
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,904	3.75
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,602	3.16
	株式会社損害保険ジャパン	1,588	3.13
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	千葉興業銀行行員持株会	692	1.36
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	653	1.28
第一回第一種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	625	50.00
	株式会社みずほ銀行	625	50.00
第二回第二種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	2,500	50.00
	株式会社みずほ銀行	2,500	50.00
第三回第三種優先株式	株式会社整理回収機構	17,150	100.00

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 3. 普通株式の持株比率は自己株式(53,624株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
なお、決算公告につきましては、
当行ホームページの下記アドレスに
掲載いたします。
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html>
- 株式事務取扱場所
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

■ 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。

特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座株式のご売却について

特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)

みずほ信託銀行株式会社

■ お問合せ先(郵便物送付先)

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324

株主様のご住所・お名前等に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>